

T-50 低ランク双線形モデルによる活動イベント発生密度推定

前田啓輔⁺, 下坂正倫⁺, 坪内孝太[≠] (⁺ 東京大学, [≠] Yahoo!JAPAN研究所)

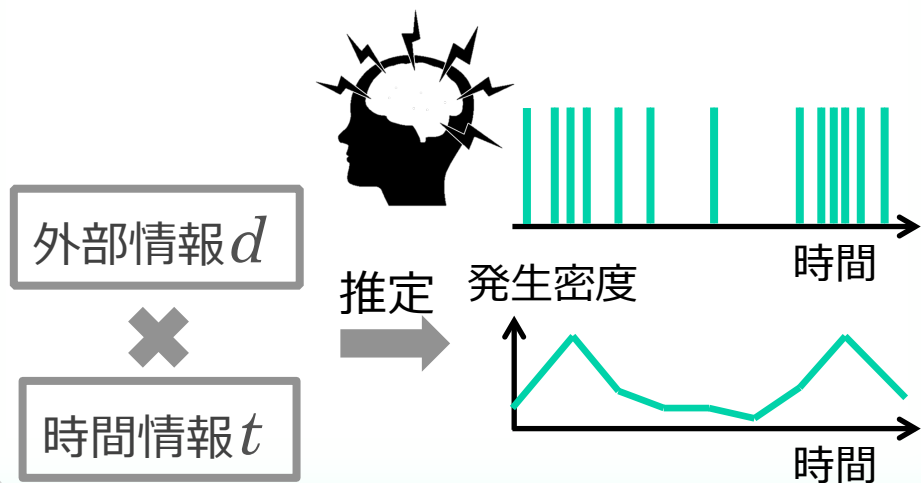
目標：複数の要因で変化する活動イベント発生密度のモデリング

- 応用例：脳活動モデリング, トラヒック解析, 在宅予測

提案：時間情報と外部情報の共起を入力とする双線形モデル

- 行列分解による多タスク学習 (ポアソン回帰)

$$p(y) = \text{Poisson}(y | \exp(d^T \hat{W} \hat{H}^T t))$$



実験結果

